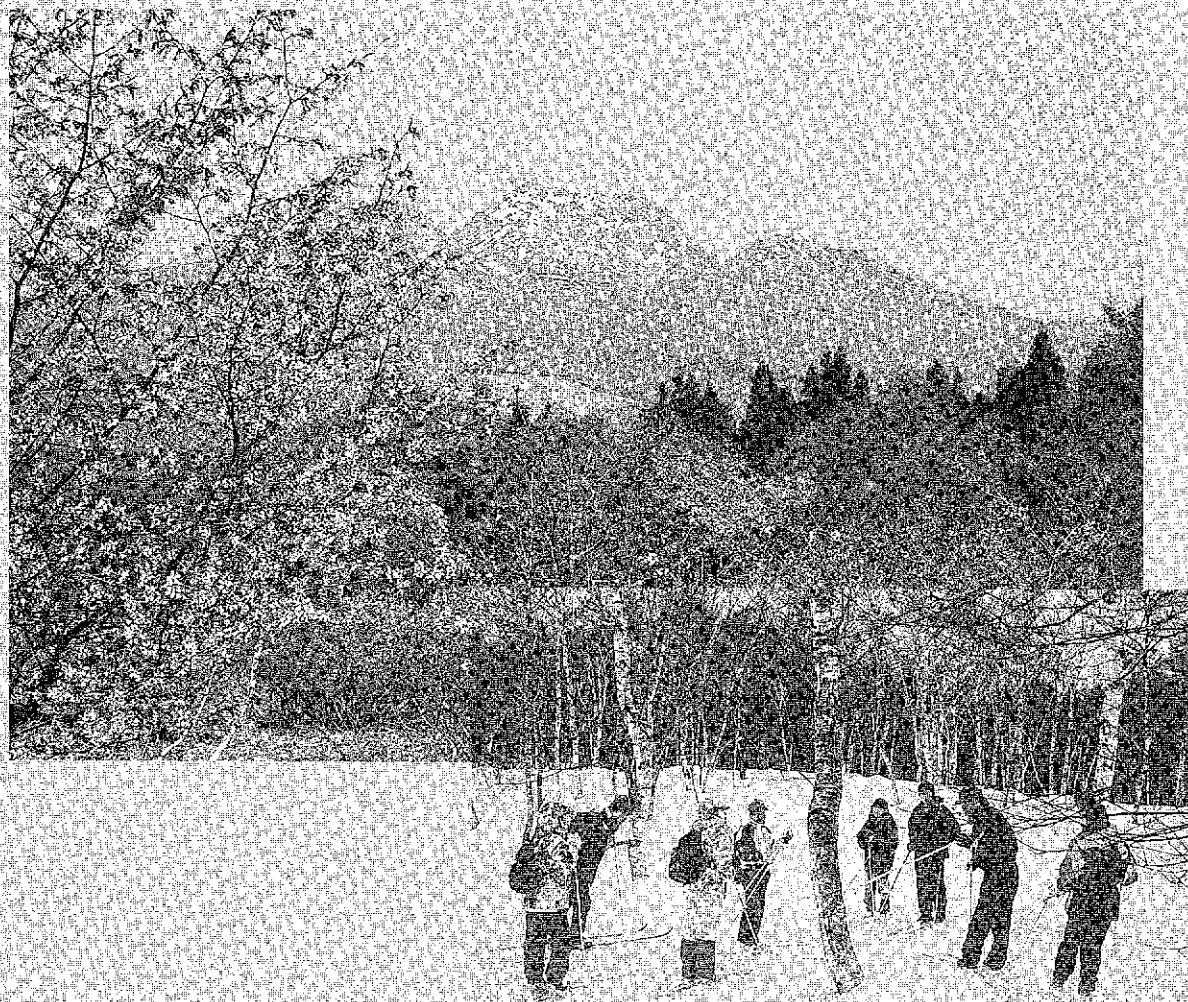


新潟県

公民館月報 5

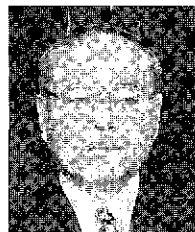
平成13年5月号 通巻第579号



表紙 春の妙高山
(妙高高原町公民館)

特集 新任職員のための公民館ガイド

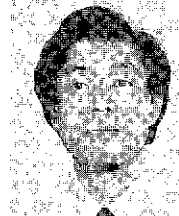
視点 落語雑感
ひろば 文芸活動の精神的原郷の創設
実践記録 成人大学講座「越佐人物風土記」
サークル交流 新潟スピーチクラブ(新潟市中央公民館)
篆刻の会(水原町公民館)
素顔拝見 菊池友宏さん(見附市)
柳 高浩さん(松代町)



前副会長
加藤信興

1、辞職、長岡市高齢者センター
けさしるセンター長(嘱託)

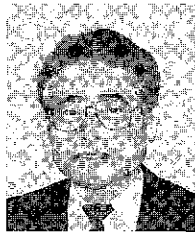
2、長岡市は、従来の公民館の
枠を越えてコミセンに脱皮する
ため、産みの苦しみを味わって
います。前途多難とは言え、一
筋の光明が見えてきました。
3、高齢になっても生涯学習に取
り組む人達に接し、自分もあのよ
うに齢を重ねたいと思います。



前副会長
小島一修

1、定期異動、新発田市教育委
員会教育部生涯学習課長

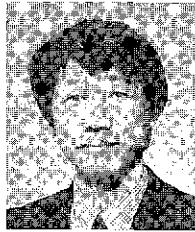
2、学習者自身が主人公となる
よう仕掛けたこと。例えば、生
活文化実践分野では高齢者学級
生自身が先生であり、指導者。
インターネットを使っているの発信
を。
3、学習者が主人公の公民館に。



前理事
北村秀成

1、依願退職、自宅勤務
2、三年かけて市民の代表者が

作りあげた生涯学習プログラム
の完成。地域の生涯学習推進委
員さんが取り組んだ生涯学習
フェスティバルの成功。コミュ
ニティーセンター・夜間照明施
設等の建設を通し、より多くの
人との出会いがあったこと。
3、自分がやらねば人は動かず。



前評議員
北村弘文

1、定期異動、見附市税務課課
長補佐

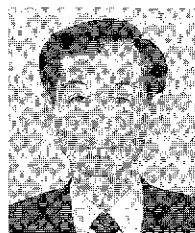
2、見附市公民館設置五十周年
記念事業で、公民館はこれまで多
くの市民と職員の違いと実践に
支えられてきたことを実感した。
同時に現在の市民の活動にこれ
からの可能性を見る思いがした。
3、量より質が問われる時代。
公民館理念の絶えざる確認を。

今年的人事異動に伴う当会役員

退任のことば

『県公連の一層のご発展を祈念』

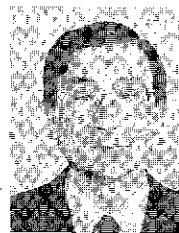
今年も人事異動により八名の
役員の方々がご退任されること
となりました。ご退任に当たっ
て左記の項目によりおことばを
いただきました。
1、異動内容・異動先等
2、在任中、印象に残った事業
事柄等
3、退任に当たって贈ることば



前評議員
酒井峰雄

1、定期異動 新津市議会事務
局長

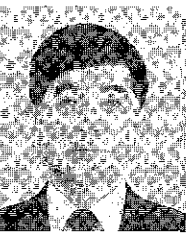
2、勉学意欲旺盛な、元気な市
民が大変多いことにびっくり致
しました。
3、多くの方々との出会い、そ
して、貴重な体験ができる公民
館活動の更なる御発展をご期待
申し上げます。



前評議員
関口弘治

1、定年退職
2、四十年間の勤務の内、二十

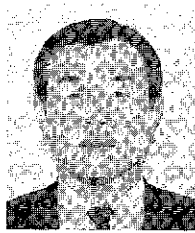
一年間を社会教育の仕事に従事
し、多くの人々との出会いの中
から、人として生きる道の大切
なことの多くを学びました。
3、分権社会は、地域住民の自
治能力を向上することが求めら
れています。これが公民館の原
点でもあります。



前評議員
山口光太郎

1、定年退職
2、各種事業を通して、多くの

素晴らしい仲間と多くの人々との
出会いで貴重な体験をし、心
の豊かさを実感できたことに感
謝。
3、退任するに贈ることばとし
て、明るく活気ある職場環境づ
くりと、新鮮な魅力ある活動が
展開されることを期待したい。

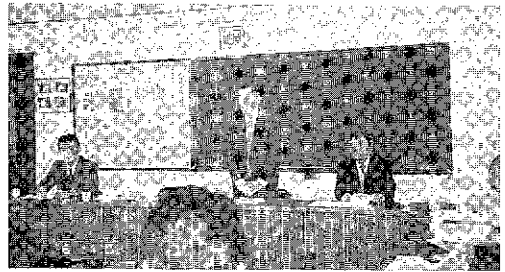


前評議員
吉田敏行

1、自己都合による。
2、短い期間でありましたが、

多くの素晴らしい方々と出会
い、そして協力をいただき、県
公民館大会兼県公民館連合会創
立五十周年記念式典の事務局を
担当して、無事終えたことが特
に印象に残っています。
3、学校週五日制はすぐそこ、
家庭、地域、学校、行政連携で。

県大会 第1回 実行委員会開催される



◇平成13年4月26日(木)
◇十日町市公民館で

残雪の中で桜花咲く妻有の地、十日町市公民館で県大会第1回実行委員会が開催された。主管の中魚沼郡・十日町市社会教育振興会により、大会開催要項(案)については月報4月号で既報済みであるが、今回は実行委員会の構成、今後の作業日程の具体的な詰めを行うため開催された。当日は、まず県公連から今井会長のあいさつ、そして4月人事異動もあったことから出席者の自己紹介、地元事務局の経過説明がなされた後、協議に入った。議題1の開催要項については、項目ごとに確認しながら進められ、未定の午後の日程について具体的な検討が加えられ、方向性を見出した。議題2・4の大会役員、委員の役割分担についても具体的な意見交換がなされ、最後に議題3・5の予算及び今後の作業日程についても協議され、最終的には県公連事務局とも調整しながら、決定することとなった。

視点

新世紀の年
始まりの年
といった声
が聞こえて
います。私
も思っ
れば落語な
るものへ足
を入れてから35年目を
迎えることとなり、区
切りの年とも言えるの
かもしれません。

落語雑感

しかし、今年も町教委で文化財を担当しながら落語の高座もつとめる生活は変化しないようです。よくキツカケはとか、落語が仕事に役立ったことは、とか

三遊亭慎楽

(遠藤慎之介)

聞かれますが、単純に上手くなりたくて、思っただけで、仕事にこうしたら生かせるのか考えて来たのではないので、納得できる答えはできない。

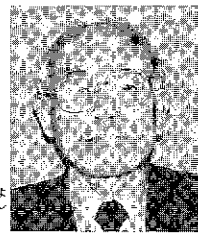
落語は世の中にある



学芸員)

文芸活動の精神的原郷の創設

青海町公民館運営審議会委員 蛭子健治



短歌会誌「歌と評論」の代表的歌人として知られた

本町出身の加藤義平先生が、短歌の普及と文芸精神の高揚のため当時の町教委社会教育講座に短歌をとりあげ、参加者グループを「さわらび短歌会」と命名し、その指導に力を尽くされた。その先生が昭和六十年急逝され、私が後を引き継ぐこととなった。毎月第三水曜日の午後を例会とし、名歌の鑑賞、文語文法の講義、実作指導の三部構成で、平成九年十二月までに合同歌集二冊を刊行した。

ひるば

没後十三回忌のこの年に至って先生の歌碑建立の声が高まり実行委員会の組織づくりに入った。先生は町助役、教育長の経歴があり、実行委員には町議会議長、議員、教育委員長、教育長、総務課長等のほか各短歌会の方々、医師、商店主、中学校の同級生、生家集落役員の方々等町内外二十一名の方々に願

公民館ガイド

品 田 尚 道



○公民館は「人間らしい生き方を学び合う場」でもあります。当市寿大講講座のねらいと心得に次の一項目があります。「受講生が一人の人間として、一人の市民として、自分の人生をどう生きるかについて、ともに考え、話し合い、学び合っていく広場であり、お互いが先生であり、生徒であります」。

また、世代間や地域間交流事

社会教育的手法

○公民館は「人間らしい生き方を学ぶ場」でもあります。当市寿大講講座のねらいと心得に次の一項目があります。「受講生が一人の人間として、一人の市民として、自分の人生をどう生きるかについて、ともに考え、話し合い、学び合っていく広場であり、お互いが先生であり、生徒であります」。

また、世代間や地域間交流事

真心の対応
○公民館には、あらゆる住民の皆さんがやってみてまいります。利用申込み、学級・講座の受講に、自分たちの活動に、集会の参加に、相談や苦情に、あるいはおしゃべりやくつろぎに。その人たちと明るく接し、要件や要求を満たしてあげられることが公民館の大きな役割であり、職員の仕事でもあります。○それには、住民の立場になって対応していただくことが大切です。心のこもった対応ができるかどうかのポイントになります。住民はあなたの対応を即座

に感じてしまいますから、公民館は人と接する場と言ってもいいでしょう。経験が豊かになりますと、お客さんの顔を見ただけで、この人はどんな要件で来館されたのか分かるようになります。○特に一般行政から来られた方は、従来と全く違った対応が求められますので、気持ちの切り換えが肝心です。また、近年は公民館と生涯学習・社会教育課が兼務する傾向が見られますが、教育機関の教育事業と行政機関の施策展開は、明らかに目的、業務、手法などが異なります。同一の人間がやるものから、社会教育的手法が知らず知らずのうちに行政的手法になりがちです。これは、お互いに心したいものです。

主体は住民

○住民をお客さまとして接し、至れり尽くせりのサービスをすると、熱心な職員として感謝され、評判もすこぶるよくなることでしょう。しかし、公民館は「自ら学び続けることができる住民を育成する」大きな役割があります。

業では、お互いに自分の知らない、持ち合わせていない事柄について学ぶことができます。このように、公民館の学びは、相互教育、相互学習と言ってもいいでしょう。○そのためにも、お互いに一人の人間、一人の市民、一人の受講生として尊敬し合うことが大切です。「一人ひとりの主体を尊重しながら、お互いに学び合い、意見を出し合い、共通の学習目標に近づく」。こういうことが、社会教育的手法と言えらると思います。

○では、その手法は？
・受講生全員が何らかの役割を（受付、会場、進行、記録、資料、連絡、会計、広報など）
・受講生による学習目標、学習内容、学習プログラムづくり
・グループワークやワークショップなども含めた多彩な学習方法を
・そして、学習成果を実践活動

地域課題・生活課題

○その困っていることの要因を改善し、住みよい生活と地域にすることが「地域づくり」なのです。この解決の仕方を公民館で学習しようということが、公民館学習の一番大切なところですね。地域づくりのスタートはここにあるのです。

○それは、その手法は？
・受講生全員が何らかの役割を（受付、会場、進行、記録、資料、連絡、会計、広報など）
・受講生による学習目標、学習内容、学習プログラムづくり
・グループワークやワークショップなども含めた多彩な学習方法を
・そして、学習成果を実践活動

や地域の生活を豊かにすることこそ公民館本来の目的でもあります。人の集まりやすい趣味的・けいこごなどの学習を否定するわけではありませんが、これらは公民館でなくとも地域社会で学ぶ機会が多々あります。

公民館不要論がささやかれる裏には、このような地域課題学習・地域づくり事業を取り上げてこなかった背景があったのではないのでしょうか。

学級・講座・教室

○それぞれの違いをまず習得することが、事業名ネーミングにつながります。公民館職員として一般的なものですが、最低限理解しておきたいものです。

【学級】
青年学級、婦人学級、成人学級などのように、大まかに対象を区切り、総合的に学習活動を行う場合に使用。

【講座】
健康講座、料理講座、郷土史講座などのように、内容的に焦点化し、深まりを求めるものを使用。

【教室】
この両者の中間的位置づけをするものに使用。
○これがすべて正しいというところではありませんが、参考として

過疎化、都市化による新旧住民の融和、子育て、近隣付き合い、ゴミ処理、いじめ・非行・青少年健全育成などの教育環境、高齢化や地域福祉など、毎日の生活で困っていることが地域課題です。

特集

新任職員のための

前柏崎市柏崎公民館副参事

果を得たいのかが学習目標です。

○この二つが学級・講座を始めとする公民館事業の生命です。

とかく、個々の学習内容を先に考えがちですが、そうではなく、ねらいと目標がしっかり位置づけられれば、それを学ぶ内容は山ほどあります。あとは、それをどのように組み立てるかで学習プログラムはでき上がります。(下段学習計画表参照)

職員的心得ワンポイント

○公民館事業は自分が真摯に取り組み、自分が感動できなければ住民を感動に導けません。

○自ら学ぶという姿勢の人のみ自らを高めます。各種研修会・大会等への参加や、社会教育・生涯学習・公民館など見えない所での勉強がとて大切です。

(平成九年十一月の公民館月報五月号に掲載された先輩諸氏の助言をぜひご覧ください)

○公民館という館は住民の館であり、職員自身の家でもありません。和室の障子張りや玄関前の除雪などの環境整備は、わが家以上に職員自らの行動で汗を流してください。

○公民館は人間性を尊重し、人間的なふれあいによる学習と事業が基本です。事業を重ねることにより、参加者から多くの学

びを得ることができ、自ら成長します。デスクワークでは得ることができない学習成果となります。

○住民が主体の学習・活動をコーディネートする能力を身につける。

○個人の学習を地域(コミュニティ)づくりにつなげるプロデュース能力を身につける。

結びの学習

○小学四年生の社会科に、公民館の学習が盛り込まれています。子どもたちは一生懸命学習に取り組み、公民館まで質問をたくさん持って訪ねて来ます。さあ、あなたならどう答えてやりますか。

・公民館はどうして必要になったのですか。

・公民館の大きさ・広さを教えてください。

・公民館はどんな人たちが、何のために利用しますか。

・公民館は地域の人の生活にどのように役立つていますか。

・公民館はコミュニティセンターと何が違うのですか。

・公民館を借りるのにいくらお金がかかりますか。

・公民館は私たちも借りることができますか。

☆参考資料
公民館日記・徳間助夫著

平成8年度柏崎市北条公民館学習計画表

事業名	北条ふるさと塾	ねらい	目標		
対象	地域住民	コミュニティ20周年記念事業「地区民意調査」の結果、提言された「組織の見直し」を地区民と共に見直すことにより、コミュニティが真に住民のために地域活動の拠点となり得るために機能的な組織を確立し、住みよく個性豊かな地域づくりを目指す。	地区内の様々な課題や事業を活発に取り組みめるためのコミュニティ組織を研究し、望ましい組織の在り方をまとめ、コミュニティ振興協議会及び地区民に提言する。		
回	月	日	テーマ	学習内容	学習方法
1	5	23	コミュニティって何だろう	コミュニティ・公民館・総代会の役割と連携の在り方を探る	講義・グループワーク
2	6	3	コミュニティの課題を探る	コミュニティの課題を整理し、その解決策を考える	グループワーク
3	6	18	住民主体の地域づくり	・住民主体の地域づくりを進めるには ・住民の役割を考える(地域で何ができるか)	講義
4	7	2	北条を彩る諸団体	地区内の団体・機関・サークルの組織、活動内容と課題等を調査・把握する	調査・整理
5	7	22	市内コミュニティあれこれ	市内24地区コミュニティの運営や活動を研究する	研究・グループワーク
6	7	25	市外コミュニティとの交流	コミュニティ活動の活発な市外コミュニティ組織との交流学習会(糸魚川市根知公民館・アタック21)	交流

【学習のねらい】
何のために学ぶか
○○○の状況であるので、これを○○○するために学習に取り組む」ということを、しっかり位置づける。
【学習目標】
学んでどうなりたいか、どこまで高まりたいか、どういう結果を得たいのかが学習目標とする。

実践記録シリーズ (51)

成人大学講座

「越佐人物風土記」

新潟市鳥屋野地区公民館

館長 伊藤 高

一、はじめに

新潟市鳥屋野地区公民館は、平成十二年二〇世紀最後の年に創立二〇周年の節目の年を迎えた。創立以来継続している主催事業に、「成人大学講座 越佐人物風土記」がある。平成十三年度の学習プログラムは別表の通りである。五月から九月まで通算五カ月にわたる超ロングラン講座であるが、出席率は例年八五%を下まわったことがない。この講座を円滑に遂行するためには毎年一年がかりの準備を必要とする。まず、五月の開講日（今年は五月十一日）前に、講座で使用するテキストを間に合わせる必要がある。そのためには、講師の選定、交渉に始まりテキスト用の資料・レジュメの提供、校正、発注と一連の準備が膨大なものとなる。九月の開講直後に準備に入り、年内に大半を終えてないと安心して年を越せない……というのが毎年の例である。

二、講座開設のねらい

この講座は上・中・下越及び佐渡地区の歴史上の人物の業績、実績を丹念に探り、キラリと光るものを持ちながらも埋もれている人物にも光を照射するよう心がけている。現在に生きる我々が、先人の偉業に如何に多くの恩恵を受けているかを学び、検証することを最大のねらいとしている。なお、現存する人物は何かと問題が多いので、物故者に限らせてもらうことと、上・中・下越・佐渡のパラ

三、講座の歴史的経緯

二〇年前の記録、資料をひもといてみたら「鳥屋野の歴史をさぐる」とか「郷土新潟歴史紀行」というタイトルが読みとれた。地元の歴史探訪のスタイルが現在の形になったのは一九八六年以降である。爾来二〇年、この講座に登場した人物は二〇

〇人余り、講師は延べ一〇〇人以上を数えている。

四、受付から開講まで

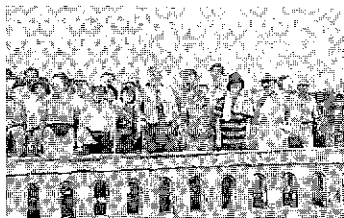
この講座の定員は、男女各四五名である。受付方法は、①電話②直接会場で申し込む、の二つである。広報日翌日の月曜日午前八時三〇分に受付開始、その時点で直接申込に来館した人が約六〇名、電話の受付も含め八時四五分には定員に達する、というのが例年のパターンである。

五、学習の展開

受講生十二名を一班とし、八班編成の班組織を作り、全ての学習活動を班長中心に自主的にすすめてもらっている。①学習環境の整備②講師紹介③学習日誌、出席簿の記入、管理④現地研修の希望の取りまとめ⑤参加費の徴収などである。単なる「承り学習」ではなく「自らが主体的に学ぶ」という姿勢を強く意識してもらうためである。「受講生は準備されたものに単に乗っかかるお客様」ではない。かくして今年も忙しい日々がこれから始まる。



講師の説明に聴き入る受講生



△先人の努力で現在の繁栄が

【学習計画書】

- 募集数 先着男女各45名 計90名
- 開設 毎週金曜日 午前10時～正午
- 参加費 2,800円(2回ある現地研修は別途徴収)

回	テーマ・内容	講師
1	巻 菱湖・館 柳湾	新潟大学教育人間科学部 助教授 岡村 浩
2	山田花作の牛と歌	国際獣木学会新潟支部長 監修 杉浦 彰
3	越北の藩邸 長善館の人々 鈴木文台、堀軒ほか	吉田町史料館長 吉田 勝
4	佐渡の蘭学者 柴田収蔵	筑波大学教授 田中 圭一
5	日本のワインの先駆者 川上善兵衛	岩の原葡萄酒社長 教原 健一
6	(現地研修 上越市) 川上善兵衛の故郷を訪ねる	同上
7	画人 笠原毅 「揚映酔漢」考	県民俗学会・会員 竹村城之助
8	新潟県政を彩った 塚田十一郎の光と影	元新潟日報編集局長 石塚 英一
9	坂口謙一郎先生と酒	県醸造試験場 場長 本 月岡
10	新潟県人の一典型 松岡 謙	敬和学院大学客員教授 若月 忠信
11	藩政改革と青砥武平二	村上市史編纂室 専門員 大場喜代司
12	(現地研修) 青砥武平二の故郷村上を訪ねる	同上
13	本庄篤長の野望—上杉謙信・宗勝と争った阿賀北の群村	郷土歴史博物館建設室 長谷川 伸
14	司馬愛海	佐渡博物館長 山本 仁
15	黒崎の地に生まれた民権運動家 山際 七司	近代地域史研究者 五百川 清
16	閉講式 みんなで語ろう越佐の人物	公民館職員

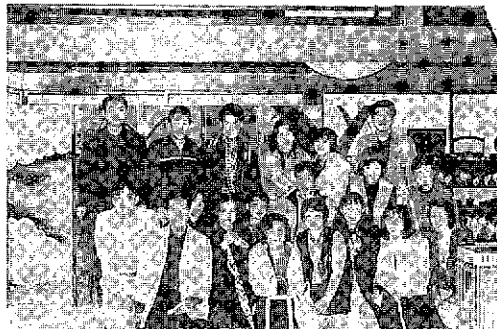


サークル交流

人生生涯勉強

新潟スピーチクラブ

私達の会は、人前で話すことが苦手な人でも、色々な場面に遭遇することがある、その機会を想定して、挨拶やスピーチを楽しみながら、学ぶことを目的としています。スピーチを学ぶことは勿論ですが、色々な分野で活躍されている人達の考え方、態度に接し、それはある時は衝撃であり、ある時は悲しく、ある時は感動を与えてくれます。その魅力に取り付かれ、二年以上も続いている方が何人



か居ります。学習では、発声、発音はもとより、講師のモットーであるその人の個性を引き出すことにより、相手に伝わる話しを目指します。私もこの会に入ってから六年になりますが、やはりスピーチは「心」だと思えます。勉強会の後は和やかな会話も弾みます。

人生楽しみながら勉強する。

それはこれからの自分にとって有意義であり、この会に入ってからよかったと思います。是非皆様へ入会されることをお勧めします。

是非皆様へ入会されることをお勧めします。

(新潟スピーチクラブ)

五十嵐 昭栄 記

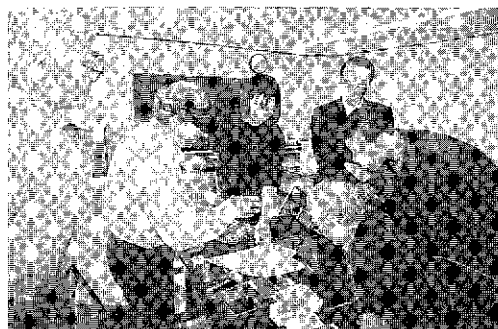
心のゆとりを求めて

水原町 篆刻の会

水原町の「篆刻の会」は、発足してまだ四年目を迎えたばかりのサークルです。

平成九年度末に、町の公民館が生涯学習講座の一つとして開催した「篆刻教室」が母体となって誕生しました。

篆刻は方寸の中に、無限の可能性を秘めた芸術などとも言われますが、つき合ってみると、老若男女を問わず趣味として楽



しめるものの一つであると思います。今までに二回の習作展をはじめ、町の文化祭、あやめ祭り等にも参加してきました。

今年も三回目の「習作展」を町の公民館で四月十五日より一週間開催を予定しております。

現在、会員数は十四名ほどの少人数ですが、毎月第三金曜日を例会日として、午後一時半より四時半まで「石と文字」を相手に、世間の俗事を忘れ、楽しい一時を過ごしています。

年齢、性別を超越し、篆刻を愛する仲間が一人でも多く増えることを心待ちしています。

(水原町篆刻の会)

皆川 安夫 記

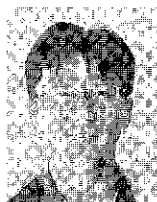
見附市今町公民館

主事 菊池友宏 さん

長いこと総務課に所属、今町公民館に配属されたたったの一年、二年目を迎えたばかり。

温厚実直、ことは教は控えめ中肉中背、誰に対しても優しい三十二歳笑顔が素敵な好青年。

趣味といえば、ギターを弾くこと、ハードロックの音楽を聴くこと、将棋は一級、ボーリングにも癡っ



ている。さて、公民館での仕事ぶりはお

う何年もやったベテラン職員と全く変わりが無いほどである。

本年度も事業を多く担当、計画は殆どでき上がり実践するだけ、まさに驚くべき緻密さとパワーに感心するばかり。

その他事務処理能力にも優れており、今までの文書や資料等をあつと言うまに整理し、情報公開というだけでなく自分たちの仕事にどれだけ役立っているかということ、彼が来て公民館が変わった。あと、彼に可愛い嫁さんがいたらいいな……

(見附市今町公民館長 岡 茂男 記)

素顔拝見

松代町教育委員会生涯学習課

主事 柳 高浩 さん

この春、生涯学習課に頼もしい若者が配属された。

長身で細身の彼は小学生からクロスカントリースキーを始め、高校時代にはインターハイにも出場し入賞もしているスポーツマンである。

町ではシンボルスポートとしてクロスカントリースキーに力を入れているが、ジュニアの育成に彼の指導力が大いに期待されている。

彼に興味は？と聞くと「酒です。」という言葉が返ってきた。



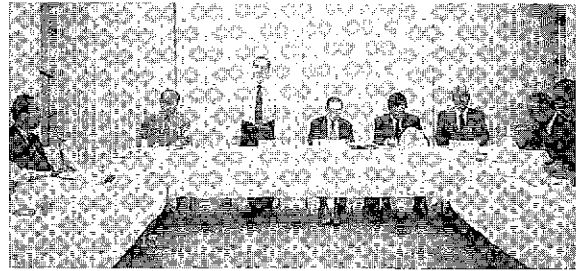
確かにアルコール類は何でもいける口なのだが、大虎になることはないから頼もしい限りである。

また、カラオケは新しい横文字の入った曲には全く興味を示さず「若年寄り」な一面も持っている。新しい環境で大変であるが、テキパキと仕事をこなしている。町の生涯学習の推進に大きく貢献すること間違いない!

(生涯学習課 石口 丈夫 記)



全公連 創立 50周年記念式典 第2回実行委員会開催される



◆ ◆ ◆
今秋11月16日(金)に開催が予定されている全公連創立50周年記念式典の第2回実行委員会が、去る4月17日(火)東京・霞山会館で行われ、会長、事務局長が出席した。

協議内容は、1. 今後の準備スケジュール、2. 運営組織並びに業務内容、3. 業務に関する役員等の役割分担、4. 式典及び記念講演進行予定表、5. 会場図並びにステージ登壇者配置図、6. 記念式典大会要項等について、小委員会であらかじめ練られた具体案が提示され、いろんな検討、要望等が付加され、大よそ原案どおり了承された。

なお、記念講演講師は、宇宙飛行士の毛利衛さんが予定されている。

◆ ◆ ◆
今回は、5月21日(月)の開催が予定されている。

新潟県社会教育協会創立30周年記念式典のご案内

時下、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

当協会の運営並びに事業の推進につきまして常々ご配慮を賜り、心から感謝申し上げます。

さて、この度下記により、当協会創立30周年記念式典を開催することになりました。会員並びに元・前会員多数の方のご参加をお待ちしております。

記

- 1 日 時
平成13年5月29日(火)午後2時50分より
- 2 会 場
新潟市南万代1-8 新潟県学生年金会館 (2F 鳳凰の間) (電) 025(243)3551
- 3 記念式典次第
 - (1) 開会挨拶
 - (2) 祝辞
 - (3) 来賓紹介
 - (4) 感謝状贈呈
 - (5) 被表彰者代表挨拶
 - (6) 閉会挨拶
- 4 当日の日程

(1) 通常総会	13:30~14:30
(2) 創立30周年記念式典	14:50~15:20
(3) 記念講演会	15:40~17:10 (注1)
(4) 記念パーティー	17:30~19:00 (注2)

注1: 記念講演 講師 新潟県立歴史博物館館長 小林達雄さん

注2: パーティー会場 東映ホテル(新潟市弁天2-1-6)

5 問合せ及び申込先
(社)新潟県社会教育協会事務局
新潟市川端町2丁目9番地
新潟県林業会館内 〒951-8053
TEL・FAX 025-228-2419
E-mail:syaky055@poplar.ocn.ne.jp

刊行資料紹介

新潟県公民館五十年誌刊行される

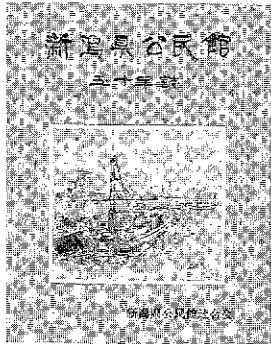
新潟県公民館連合会刊

大変永らくお待ちいたしました。懸案の五十年誌がようやく刊行されました。

ワークがあつてこそ達成できたものと思えます。表紙題字は、書家である今井会長の揮毫、表紙絵は前村上中

公館長鈴木敏夫氏、扉絵は、県展参与佐合敦氏、目次絵は新潟市中公使用団体協会会長早川久一氏のご好意によるものです。

予算措置もなく、独立採算制でのスタートでありまして、果たしてどのような物になるか、不安満載、途中下車なし、緊張の連続でのゴールインでした。この間、県内現場公民館関係者のあたたかなご支援、ご協力の下、編集スタッフの前向きな取り組みと、より強力なチーム



カラグラフィア6頁、内容は50周年記念式典・50年の歩み・市町村の現状と大きく分けて3部構成となっており、装丁、内容とも大変充実している、との好評をいただいております。残部少々、ご希望の方は県公連事務局へご一報を!!

あ と が き

◆五十年誌がようやく刊行され、ほっと一息つけるかと思っていたのですが、その間もなく理事会・評議員会の準備に忙殺されることとなりました。

◆県大会の方も、第1回実行委員会が十日町市で開催され、これも軌道にのりつつあります。いろんな面でもまたお世話になりますが何分よろしくお願ひします。(鈴木記)

表紙解説

春の妙高山

自然観察会では、四季折々の妙高高原の自然を学び楽しめます。写真は「オオヤマザクラと雪解けの妙高山」「雪上自然観察会」

(妙高高原町公民館)

発行所 新潟県公民館連合会

〒951-8053
新潟市川端町2-9・県林業会館内
TEL・FAX (025)224-6073
発行人 会長 今井昭友
編集人 事務局長 鈴木友夫
印刷 第一印刷所
〒950-8724
新潟市和合町2-4-18
TEL(025)285-7161 FAX(025)282-1776
【定価1部150円 年共1,800円】